

ICTリテラシー(2)		ICT Literacy		担当教員	
学部・学科		生命環境化学科:機械工学科 第3学年		坂本 明子	
学期		後期			
曜日・時間		火 1			
選択必修区分		(選択)		単位数 2 単位	
概要(目的・内容)	インターネットやIoT、AIを中心とした情報化社会においては、情報を効果的かつ安全に管理・活用する知識・技術を身に付けることは大変重要なことである。本講義では情報の収集や発信、分析などの情報の取り扱い方法を学ぶとともに、プログラミングによりさらに様々な情報活用ができることを体験する。				
授業方針	コンピュータの基本的な仕組みや機能を学び、その上で色々なソフトウェアを通じて情報を管理・活用する方法を学ぶ。ソフトウェアの操作だけでなく、情報を取り扱うことに焦点を当て、講義を展開していく。				
学習内容(授業スケジュール)	第1回講 ガイダンス・授業の目的 第2回講 社会でどのような変化が起きているのか 第3回講 社会で活用されているデータ 第4回講 データを読み、説明し、扱う 第5回講 データ分析(販売に関するデータ) 1 第6回講 データ分析(販売に関するデータ) 2 第7回講 データ分析(企画に関するデータ) 1 第8回講 データ分析(企画に関するデータ) 2 第9回講 データ分析(顧客に関するデータ) 1 第10回講 データ分析(顧客に関するデータ) 2 第11回講 AIプログラミング(Python) 1 第12回講 AIプログラミング(Python) 2 第13回講 AIプログラミング(Python) 3 第14回講 総合演習				
準備学習	授業時に配布する資料や参考資料等を事前に読み、予習すること。(30時間) 状況に応じて、適宜課題を課すので、授業で説明された内容の復習を行うこと。(30時間)				
学習到達目標	①情報を効率的かつ安全に管理・活用できる ②プログラミングの方法を知り、基本的なプログラムを作成できる ③AIの技術を理解し、基本的なAIプログラムを作成できる			関連科目	
				受講要件	特になし
履修上の注意	欠席が続くと授業に追いつくのが困難になる。病欠・公式行事等で期末試験を受けられなかった場合には、追試験を行うが、再試験は行わないので、履修には注意すること。				
レポート					
成績評価基準	上記の学習到達目標が達成できたか否か				
	達成度評価基準				
	成績評価方法	最終課題(50%)、演習問題の得点(50%)で総点を求め評価します			
成績評価	埼玉工業大学工学部規定第14条に定める				
授業評価アンケート	期末に実施する				
メッセージ	データ活用について、理解を深めて下さい				
参考文献URL					
JABEE					
e-Mail	akiko_sakamoto@sit.ac.jp				
その他	学生の理解度や関心度に合わせて、授業計画を一部変更する場合がある。授業テーマに合わせて教材をLive Campus				
著書名 1	Excelで学ぶデータ分析本格入門	著書名 2	はじめてのAIリテラシー		
著者 1	日花弘子	著者 2	岡嶋裕史, 吉田雅裕		
出版社 1	SBクリエイティブ	出版社 2	技術評論社		
その他 1	ISBN 978-4-8156-0285-7	その他 2	ISBN 978-4-297-12038-2		
著書名 3		著書名 4			
著者 3		著者 4			
出版社 3		出版社 4			
その他 3		その他 4			